

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年12月13日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670600123
法人名	特定非営利活動法人ケアサポートHAND'S
事業所名	グループホーム 桃の家
所在地	鹿児島県阿久根市山下字前田4452番1 (電話) 0996-72-3751
自己評価作成日	令和4年11月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年12月5日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ①大自然に囲まれた心地よい空間の中に位置し、静かな環境の中に鳥のさえずりや、野生の動物の親子も多数見られるような環境にある。
- ②運営理念「尊厳・思いやり・笑顔」を職員で共有し、ご利用者に安心して暮らせる環境を提供している。
- ③心身ともに健やかに楽しく生き生きとした生活ができている源が、栄養士の立てたバランスの取れた献立にあり、1日3回の食事を楽しみにしておられる。
- ④ご利用者の能力を引き出し、できるだけ自分で出来る事はして頂くよう声かけ、見守りを行っている。「待つ、見守る、思いやり」
- ⑤職員同士の連携、声かけ合い、確認し合える環境にある。
- ⑥認知症の症状について、職員同士理解し合い、受容、傾聴を心掛けながら、日々のケアに努めている雰囲気がある。
- ⑦ご家族様へ本人の様子を写真やお手紙、または電話で本人とお話をされ安心できる施設であり、信頼関係が出来るよう工夫に努めている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、周りに自然遊歩道やグランドゴルフ場があり利用者は毎日自然いっぱいの中で暮らしている。
- ・運営理念と介護理念があり、「笑顔であること」を一番大切に毎日利用者の支援に努めている。
- ・コロナ感染に対しては、行政からの資料を基に、衛生管理の徹底に取り組み、感染症対策を徹底し、発症なく経過しており、今後も徹底した予防を継続している。
- ・年2回以上、火災・水害・地震等の訓練をマニュアルを基に実施している。消防署の立ち合いが2回ある。
- ・職員は利用者への声かけ時や排泄時には、人生経験が豊富な先輩に対する配慮で支援に努めている。
- ・職員間の関係が良く、話し合いが常に行われている。管理者へは日々のケアの中でも相談できる環境づくりができている。外部の研修もリモートで参加している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	各ユニットごとに運営理念、介護理念を掲載し、日々のケアにて理念を共有し朝礼でも確認しながら実践につなげている。	運営理念と介護理念がありリビングや玄関に掲示し、パンフレットにも掲載している。職員が笑顔であることを一番大切にしている。朝礼やミーティング時・職員会議等で振り返りをして、理念の意識付けを行い支援にあたっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍で、地域との交流がほとんどない中、近所の美容室、八百屋、醤油屋、米屋など数か所の食材屋さんとの出入りあり。訪問美容室の方は、2ヶ月に1回ですが、利用者の方々、皆、喜ばれ、10年以上の交流あり。	町内会へ加入しコロナ禍の為、地域の行事は自粛している。避難訓練には区長や近隣からの参加がある。近所の人々が畑で作った野菜を持参される。敷地内を散歩中に地域の方との出会いや挨拶をしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症について、朝のミーティングで資料をもとに確認。職員の意識の向上に努めている。区長さん、民生委員さん、推進委員であり、会議で資料をもとに認知症の方の理解を求めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の会議であるが、コロナ禍で、暫く書面での開催となっているが、御意見、御助言を書面にて報告を頂いている。積極的にご意見を頂き、緊張しながら日々のケアに努めている	コロナ禍の為に運営推進会議は文書で開催している。事業所の行事や感染症への取り組み等について報告し意見の返信をもらっている。コロナ発生ゼロに対して、徹底した対策にお褒めの言葉もあり、更に実践に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	新規の入居者の状況、入居者の家族の心配、不満等、常に電話や窓口に向い、状況を伝えアドバイスをもらい、協力を頂きながら、ケアの質の向上に努めている。	市や地域包括支援センターとは日頃から電話等で連絡をとっている。介護保険関係の書類の提出時や相談事等により窓口に出向き、協力関係を築いている。市の研修はリモートで参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束については、朝のミーティングで、疑問なことは、確認をし、資料を提示し、再確認している。	法人全体の身体拘束廃止委員会があり、マニュアルを基に2ヶ月毎に勉強会を実施している。言葉遣いについては、気づいたときに管理者が注意をしている。玄関の昼間の施錠はしていない。外出希望者は広い敷地内を自由に歩き、どこからでも見守りができる環境ができています。また職員が付き添い散歩している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止について、常に職員同士意識し、ケアに努める。虐待について資料をもとに、職員同士で再確認に努める		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	定期的な勉強会、研修に参加し理解を深め、必要性を関係者（社会福祉協議会）と話し合う機会を設け、支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際は、十分な時間をかけて説明を行ない、理解、納得を得ようしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会や電話、お手紙等でご家族のご意見、要望を聞き、運営推進会議等でその意見を伝えることでそれらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者からは日頃の生活の中で思いを聴き、車いす使用者が「歩きたい」との要望に、計画の中に取り入れて対応した事例がある。家族からは窓越しの面会時や毎月の便りで、近況や活動状況の報告と共に行事等の写真を撮って送付し、意見等を聞き、運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>朝のミーティング等で意見を聞く機会があり、運営に反映されている。</p>	<p>毎日の朝のミーティング時や日々の支援中に相談しやすい環境作りに務めている。報告・連絡・相談を大切に、信頼関係や共同作業についての確認を繰り返し励行している。勤務体制についての相談が多くある。水漏れの修理の要望があり早急を実施できた事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>労務管理は、社会保険労務士に相談。適切な助言、指導を受けながら安心して働ける環境づくりに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>常に入居者には、尊厳と思いやりのあるケアに努めて頂けるように、職員には研修を通して認知症を理解し働く喜びを感じる機会をつくっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>認知症に係る研修、講演会等には、積極的に参加できる勤務表にしている。また、他事業所との意見交換、情報交換を積極的に行い、介護サービスの質の向上につながるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の不安を払拭するようにそばに寄り添いながら昔の苦労話等に耳を傾け、心を開いてくれるような会話を工夫する。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者とのかかわりについて時間をかけて聞いている。また、利用者と家族のペースに合わせたサービス提案をし、安心感をもってもらっている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今までの利用者とのかかわりを会話の中から、見出している。まず、取り組まなければ事の把握に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の出来る事を生かしやりがいを持ってもらう。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の状況を電話や手紙にて家族に伝え、家族と共に本人を支えていく関係を築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人や家族から、バックグラウンドにてこれまでのなじみの関係を知り、会話をしながら、関係性が途切れないよう支援に努めている。	知人や友人・家族の関係が途切れないようにケア時の言葉かけの中で、馴染みの場所や人の名前等が多く出てくるように工夫している。住んでいた地域に向いて車から降りずに懐かしい話を聞いている。理美容師が2ヶ月毎に訪問があり、世間話をしたり楽しみにしている利用者もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握しながら、孤立しないよう、レクリエーション等を通じてお互いに関わり合える環境作りの支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、ご家族や病院、施設との相談員との情報共有（家族同意のもと）にて、本人、家族の不安がないように、相談、支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人の思いや暮らし方の希望や要望について、バックグラウンドアセスメントをもとに、本人本位に出来るよう職員と話し合い、検討している。	日頃の会話の中で聞き取っている。主に食事前後やソファでくつろいでいる時が多い。意思疎通の困難な場合は、家族から生活歴を聞いたり、動作・仕草・目の表情等から把握するようにして支援に活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴や、なじみの暮らし方等の基本情報等のアセスメントを職員同士、把握し、情報を共有に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	タブレット等で一人一人の日中の様子、心身の状態、現状の把握に努め、情報の共有に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメントにそって、本人、ご家族の意向を聞きながら、主治医からの意見、助言をもとにより良く暮らすために、課題とそのケアのあり方を職員同士でもよく話し合い、現状に即した介護計画を作成している。	本人や家族から思いや意向を聞き、職員で日頃の状況等を話し合い主治医の意見を基に介護計画を作成して担当者会議を行い、家族の了解を得てる。3ヶ月毎にモニタリングを、6ヶ月毎に見直しをしている。変更時はその都度見直している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子をタブレット等に記録し、さらにケアでの気づきについて業務日誌等で情報を共有しながら介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族の状況について、バックグラウンドアセスメントで確認しながら柔軟な支援、サービスに取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	アセスメントにそって、本人に必要な資源、地域の協力を頂きながら、安全で豊かな暮らしを支援している。（職員自身も含む）		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医については、変更せずそのままの医療機関での受診は可能である。納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を支援している。	かかりつけ医は契約の時に話し合っ希望通り適切な医療ができるように決めている。協力医療機関から往診が月1回ある。24時間医療連携体制が整っている。他科受診は職員が同行して家族へ結果を報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>職員同士、バイタルや顔色表情普段と違う状態を観察し主治医に相談できる環境にあり適切な受診もその都度、支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院した際は、途中で病院の相談員の方とその後の状態について情報の交換をしている。病院関係者との関係づくりは出来ている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時、重度化した場合等の説明を行い、普段の様子との違い、状況を見極め、家族に連絡し、主治医に相談するなどの支援を行っている。</p>	<p>入所時に重度化した場合について説明をしている。マニュアルを基に、重度化や終末期については、早い段階から医療連携を行い家族とも同意をもらいながら進めている。病状の変化に応じて主治医と家族等の話し合いを行ない、今後の事について説明を受け対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>すべての職員に、急変時、事故発生時の対応については、迅速に連絡、連携し、スムーズな対応が出来るよう、周知し、実践力を身につけている。</p>			
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署立ち合いの訓練、年2回行っている。区長さんや近所の方にも協力を頂きながら日中または夜間帯の設定の避難誘導訓練に、協力を頂く体制を築いている。</p>	<p>年2回以上、火災・水害・地震等の訓練をマニュアルを基に実施している。消防署の立ち合いが2回ある。避難場所は広い駐車場となっている。区長や民生委員・関係者へ連絡をしている。地域の方も緊急時の連絡網には入っている。備蓄は米・水・味噌・インスタント食品・レトルト食品・缶詰・乾物類等を3日分用意している。電気・毛布・ガスコンロ等もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	一人ひとりの人格を尊重し、無理じいしない、寄り添うケアに努める。	人生経験が豊富な先輩に対する配慮で支援に努めている。日々のケアの中で言葉遣いに注意している。トイレ誘導の声かけや使用時のカーテン、入浴時のバスタオルの使用等で羞恥心に配慮している。入室時のノックと声かけ、毎日着る服については自分で選べるように工夫している。	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	アセスメント、バックグラウンドにより本人の思い、希望を確認し、職員全員が、情報共有し自己決定できるよう働きかけを行っている。		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	業務優先ではなく、一人ひとりのペースに合わせてながら、退屈させることなく、希望を優先しながらその日を楽しく過ごせるよう支援している。		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	2か月に1回のヘアカット、髭剃りは、鏡を見ながらできるため声かけし剃って頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の能力に応じて、食事の盛り付け、下膳、片づけ、台拭き等をお願いしている。	献立は、法人の栄養士が作成し、食材は配達を依頼。職員で食事形態に配慮している。行事食は弁当等を利用して誕生日は刺身など豪華にしている。ケーキも作り楽しんでいる。利用者と台ふきや盛り付け下膳等を一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立や量の指導、食事、水分摂取量の把握に努めている。摂取量の少ない利用者については、一部介助しながら水分等の内容も工夫しながら支援に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを促し、本人の出来る範囲でして頂く。利用者の状態に応じ、介助している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、定期的なトイレ誘導や声かけを行っている。	排泄チェック表を作成し排泄パターンを把握している。日中はトイレへ移動して排泄を促している。オムツの使用量も少なくなっている。自宅ではオムツを使用していたが、入所してトイレへ誘導することでトイレでの排泄ができるようになった事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の排便チェックと伝達、食事は栄養士による献立で食物繊維も多く取り入れた内容となっている。体操を取り入れた運動を日課とし、便秘予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週に3回以上、入浴のサービスを行っている。個室であり、声かけをしながら気持ちよく、ゆっくり入って頂いている。温度管理、皮膚の状態等確認も行いながら支援している。	入浴は週3回午前を基本としている。体調によりシャワー浴や足浴に変更している。医療機関への受診がある時は午後に入浴を変更したりしている。拒否のある場合は無理強いをしないで、声掛けの仕方を工夫したり楽しくなるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの状態に応じて、休息して頂き、安心して休めるよう支援している。状態について職員同士情報共有しながら、支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬情報にて目的・副作用等確認しながら、本人の状態についても職員同士で確認し、服薬・症状の変化に応じた服薬支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>バックグラウンド、アセスメントにて、本人の生活暦、好きなこと、楽しみごとなどの情報を共有し、歌や塗り絵、散歩など日々の生活に変化をつけ、退屈しないよう気分転換に努めている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍で、外出の支援が出来ていないが、中庭に出て歌を歌ったり、毎日の日課として利用者手作りの新聞紙の棒を使った棒体操など身体全体を動かす体操を楽しく行っている。</p>	<p>広い中庭で散歩をしたり、花見の季節には花を眺めたりして、外気浴を楽しんでいる。医療機関の受診の帰りに少し遠回りしてドライブをしている。外出の年間計画は作成しているが自粛している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人の能力に応じて、2000円までの所持金は持っていてほしい。外出は、難しいが希望のものについては、できるだけ支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>各居室に電話ができる環境があり、自由に電話をされている。固定電話の子機で、家族と自由に話ができるよう支援している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、利用者にとって不快、混乱を招くような空間ではなく、広さや環境、湿温度の管理等配慮されている。季節感も近所から頂く花や野菜、果物があり、居心地よく過ごされるよう、工夫している。	ホールは広く窓も多くあり明るい。加湿器はあるが、部屋が広いためバスタオルを濡らして乾燥防止に備えている。時間ごとに窓を開けて空気の入替えをしている。畳のスペースもある。遮光はカーテンを利用して調整している。入り口には季節の花が植えられている。季節感のある飾り付けで、ゆったりと好きな場所で過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お一人おひとり、過ごしやすい場所があり、居心地のよい場所で日中過ごしておられる。ローカの長いすに座り、外を眺めたり、話をされたり、思い思いに過ごされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や、お布団、家族の写真など、本人が居心地よく、過ごせる空間がる。	居室は広く腰高窓になっている。ベッド・エアコン・洗面台の設置がある。各部屋から外の景色が眺められる。寝具・家具・テレビ・時計・家族の写真・カレンダー等の持ち込みがある。畳の部屋にベッドが置いてあり利用者の転倒、転落事故防止にも配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	身体の状態に配慮し、ローカやリビングは広く、手すり（縦、横）もあり、トイレの表示も大きく書いてあるが、ほとんどの利用者が一部介助、見守りが必要である。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない